

会

報

社団法人 日本病理学会
 〒113-0034
 東京都文京区湯島 1-2-5
 聖堂前ビル 7 階
 TEL: 03-6206-9070
 FAX: 03-6206-9077
 E-mail: jsp-admin@umin.ac.jp
 http://pathology.or.jp

社団法人日本病理学会

第 297 号

平成 24 年 (2012 年) 10 月刊

1. 第 58 回日本病理学会秋期特別総会開催について

第 58 回秋期特別総会会長 黒田 誠

第 58 回日本病理学会秋期特別総会が平成 24 年 11 月 22 日 (木), 23 日 (金 祝日) に名古屋「ウインクあいち」にて、藤田保健衛生大学の主催で開催されます。

<http://www.gakkai.co.jp/jsp58/>

プログラムの概要

A 演説 8 題 B 演説 3 題

シンポジウム:

- ・ヒトの疾患解明に直結した最新の病理学研究
- ・医療の現場に役立つデジタルパソロジー

病理診断シリーズ:

- ・非腫瘍性リンパ増殖疾患の病理組織像
(小島 勝教授 獨協医科大学)
- ・骨腫瘍病理の見方と鑑別診断
(野島孝之教授 金沢医科大学)

特別講演:

福島第一原発事故から医療者が学ぶべきこと — チェルノブイリ事故支援の経験を通して —

(菅谷 昭 松本市長)

チェルノブイリ原発事故から福島第一原発事故について、ベラルーシでの長期にわたる医療実務を経験された外科医出身の首長としてのお考えを、現地での写真を拝見しながらじっくりと拝聴できることと思われます。

特別企画:

日本の専門医制度の行方

(社団法人日本専門医制評価・認定機構 理事長 池田康夫先生)

日本の専門医制度がどうなっていくのか、今までの経過も含め詳しい内容のご講演を賜えます。

剖検ポスター:

若手病理医が専門医試験も踏まえてじっくりと勉強できるように剖検ポスターセッションが企画され、多くの興味深い症例が集まっています。これには国際交流委員会で人選されたアジアからの指定演者にも加わっていただきますので、学术交流の場として期待されます。

第一日目の夕方にはワインパーティーが開催され、スパークリングワインに始まる充実したワインとおつまみが用意されています。また、2 日間にわたりランチョンセミナーが 2 会場で用意されていますので是非ご利用下さい。

会場「ウインクあいち」は JR 名古屋駅から歩いて約 5 分の交通至便な所で、宿泊、飲食施設等が近くに多くあります。紅葉の東海地方の観光地へのアクセスも抜群であり、熱田神宮、名古屋城、徳川美術館を始めとする歴史的な場所もございます。

なお、会期後の 11 月 24 日 (土) には、国際病理アカデミー日本支部主催の教育セミナーが JR 中央線で名古屋から 2 駅の名古屋大学鶴舞キャンパスで開催されます。中部支部の皆様で万全を期して準備が進められていますので、どうぞ皆様、是非名古屋へお出かけ下さい。

2. 会員の訃報

以下の方がご逝去されました。

佐川 文明 名誉会員 (平成 24 年 5 月 30 日ご逝去)

徳岡 昭治 名誉会員 (平成 24 年 9 月 29 日ご逝去)

日本医学会だより

JAMS News

2012 年 10 月 No. 48

日本医学会

■第 143 回日本医学会シンポジウム

「がんの一次予防と二時予防」をテーマに、12 月 20 日（木）13：00～17：00、日本医師会館大講堂において開催する。組織委員は、津金昌一郎、祖父江友孝、浜島信之、斎藤 博の各氏。参加申込みは郵便はがき、FAX、本会 HP (<http://jams.med.or.jp/>) にて受付中。参加費無料。プログラムは日本医学会 HP に掲載中。

■医学賞・医学研究奨励賞の決定

選考委員会を 8 月 29 日（水）に開催し、平成 24 年度の日本医師会医学賞・医学研究奨励賞の授賞が決定した。

本選考は、日本医師会から日本医学会に委任されており、今年度の推薦数：医学賞 13、奨励賞 40 を審査した。

選考の結果、11 月 1 日（木）の日本医師会設立記念医学大会において、今年度の医学賞は 4 名、奨励賞は 15 名に授与される。

選考の結果は下記のとおり。

〈日本医師会医学賞〉

- ・幹細胞システムにおける細胞分化機構の解明/仲野 徹（阪大・病理学）
- ・魚食により摂取される環境汚染物質の健康影響とリスク評価に関する研究/佐藤 洋（内閣府食品安全委員会）
- ・日本人の虚血性心疾患に関する基礎的・臨床的研究/下川宏明（東北大・循環器内科学）
- ・ABO 血液型不適合腎移植への挑戦—免疫学的禁忌の克服と臨床応用の普及/高橋公太（新

潟大・腎泌尿器病態学）

〈日本医師会医学研究奨励賞〉

- ・新規細胞接着分子システムが動脈硬化を制御する分子機構/扇田久和（滋賀医大・分子病態生化学）
- ・腸管上皮培養技術を応用した全腸管組織体外構築の試み/中村哲也（医歯大・消化管先端治療学）
- ・ミトコンドリアダイナミクスによるエネルギー代謝調節機構の解明からナノ治療へ/野村政壽（九大・内分泌代謝・糖尿病内科学）
- ・膵臓癌の早期診断法の開発に関する研究/谷内田真一（国立がん研究センター研究所）
- ・脳磁計による神経義手制御と ALS 患者への適応/柳澤琢史（阪大・脳神経外科学）
- ・社会格差と健康—行動経済学的アプローチによるメカニズム解明/橋本英樹（東大・公衆衛生学）
- ・東日本大震災被災地における保健医療従事者に対するこころのケア及び自殺対策の教育システムの構築を目的とした地域介入研究/大塚耕太郎（岩医大・神経精神科学）
- ・トランスレーショナルリサーチ実践による新しい急性心筋梗塞治療法の開発/南野哲男（阪大・循環器内科学）
- ・肝細胞癌の発症リスクに寄与するバイオマーカーの同定と有用性の検証/大石和佳（放射線影響研究所）
- ・日本人糖尿病患者の特徴と病態に関する臨床疫学的検討/曾根博仁（新潟大・血液・内分

泌・代謝内科学)

- ・思春期注意欠如多動性障害へのペアレントトレーニングは愛着の神経基盤を変化させるか/石井礼花(東大・精神神経科学)
- ・急性中耳炎の難治化の病態解明と粘膜ワクチンによる感染予防に関する研究/保富宗城(和医大・耳鼻咽喉科学)
- ・発癌性ウイルス特異的免疫誘導を介した子宮頸癌に対する予防的・治療的薬剤の開発/川名 敬(東大・産婦人科学)
- ・過活動膀胱における KIT-SCF シグナル伝達系からみた病態解明と臨床応用/窪田泰江(名古屋市大・腎・泌尿器科学)
- ・免疫・アレルギー疾患の発症における皮膚の役割の解明/桃島健治(京大・皮膚科学)

◆日本医学会あり方委員会

第 11 回委員会を平成 24 年 5 月 29 日(火), 第 12 回委員会を 7 月 4 日(水), 第 13 回委員会を 9 月 13 日(木)にそれぞれ開催した。「日本医学会が目指すもの」,「法人化について」等が主な議題であった。

金澤一郎委員長の下, 池田康夫委員, 岡井 崇委員, 實成文彦委員, 富野康日己委員, 中村耕三委員の 6 名で構成されている。

◆日本医学会法人化組織委員会

日本医学会の法人化準備に向けて, 平成 23 年度に新設された委員会で, 本年度より組織委員会に名称を変更した。委員は池田康夫, 岡山博人, 松木則夫, 野田哲生, 福永龍繁, 小林廉毅, 富野康日己, 麦島秀雄, 里見 進, 堀内行雄, 岩下光利, 山田芳嗣の 12 名で構成されている。本年度第 1 回委員会は 8 月 15 日(水)に開催された。

◆日本医学雑誌編集者会議

「医学雑誌のオープンアクセス」をシンポジウムテーマとした第 5 回日本医学雑誌編集者会議(JAMJE)総会・第 5 回シンポジウムを

北村 聖日本医学雑誌編集者組織委員会委員長の総合司会の下, 11 月 21 日(水) 13:00~16:00, 日本医師会館小講堂にて開催する。参加希望者は本会 HP にて受付中。参加費無料。

当日は総会に引き続き,「『医学雑誌編集のガイドライン(案)』の作成」,「オープンアクセスとパブリックアクセス」,「論文の電子化(PubMed Central に準じた XML ファイルの作成)」,「掲載論文への DOI の付与」,「ジャパンリンクセンターの開始」,「CrossCheck システムの導入(事例報告 1, 事例報告 2)」,「日本発の臨床論文の動向」の講演が行われる予定。

◆日本医学会分科会利益相反会議

「医学研究における産学連携の透明化と COI マネージメント」をシンポジウムテーマとした第 3 回日本医学会分科会利益相反会議を曾根三郎日本医学会利益相反委員会委員長の総合司会の下, 11 月 22 日(木) 13:00~16:20, 日本医師会館小講堂にて開催する。参加希望者は本会 HP にて受付中。参加費無料。

当日は総会に引き続き,「産学連携推進による医学研究と COI マネージメントの意義」,「日本医学会分科会における COI マネージメントの現状と問題点」,「臨床医学研究と COI マネージメント」,「製薬企業における『企業活動と医療機関等との関係の透明性ガイドライン』の実施状況について」,「医学研究にかかる産学連携の透明性: 社会からの視点の在り方」,「COI マネージメントにおける具体的な問題点と改善に向けた対応策について」の講演が行われる予定。

◆医学用語管理委員会

6 月 28 日(木)に第 3 回委員会を開催した。今後の予定としては平成 24 年度日本医学会分科会用語委員会を 12 月 4 日(火) 15:00~17:00 に日本医師会小講堂で開催する。

◆JapanCDC(仮称)創設に関する委員会

10 月 12 日(金)に委員会を開催予定。